

平成27年 第3回定例会
建設水道委員会報告（条例等）

今定例会において議題となりました第149号議案ほか5件について、建設水道委員会における審査の経過並びに結果について報告いたします。

初めに、第150号議案「長崎市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例」については、今回の改正は、空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空き家等に関する施策を推進するために必要な事項を定めようとするものです。

委員会では、

- ・空き家相談に対する解決件数及び未解決分に係る所有者の住所の把握状況、
- ・所有者が不明の老朽危険空き家が近隣に影響を及ぼした際の対応状況、
- ・空き家調査を自治会に委託する考え、

- ・同特別措置法の施行に伴う長崎市老朽危険空き家除却費補助金への影響、
 - ・同特別措置法に定められている、空家対策に要する費用への国や県からの補助や地方交付税制度の拡充などの財政上の措置の規定を、住宅審議会において審議し空家等対策計画に反映させる考え
- について、ただすなど内容検討の結果、異議なく原案を可決すべきものと決定いたしました。

次に、第151号議案「長崎市営住宅条例の一部を改正する条例」については、

今回の改正は、市営住宅の明渡しにおける入居者の手続きと修繕に係る費用負担について必要な事項を定めようとするものです。

委員会では、

- ・退去から入居までにかかる期間の短縮効果、
- ・手続きを見直したことによる入居件数増の見込み、
- ・ストックしてある空家を修繕する年間の見込み件

数、

・明渡しの届け出を明渡し日の5日前までとする根拠について

ただすなど内容検討の結果、異議なく原案を可決すべきものと決定いたしました。

最後に、第149号議案「長崎市景観条例及び長崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例」、第156号議案「市道路線の認定について」、第157号議案「長崎市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」、第158号議案「長崎市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」の以上4件については、内容検討の結果、いずれも異議なく原案を可決すべきものと決定いたしました。

建設水道委員会報告（補正予算第3号）

第131号議案「平成27年度長崎市一般会計補正予算 第3号」のうち、建設水道委員会所管部分における審査の経過並びに結果について、以下、特に、質疑・意見が集中した点を報告いたします。

まず、土木費において、新長崎駅の新幹線駅舎^{うわや}上家デザインに係る基本的な方向性を現在、鉄道・運輸機構が実施している高架橋の詳細設計に反映させるに当たり、追加設計費用が生じるため、その経費を県とともに負担するための長崎駅周辺エリアデザイン検討費が計上されています。

委員会では、

- ・^{おお}大屋根形式で柱の本数を通常の4本から2本とし、

屋根の材質に膜を用いることによる事業費の増減と耐用年数、

- ・ 駅舎から新県庁舎をつなぐ歩道の計画の有無、
- ・ 駅前の国道202号の横断を平面横断にせず歩道橋を残す考え、
- ・ JR九州の開発予定地についての協議状況についてただすなど、内容を検討いたしました。

次に、同じく土木費において、現在、市営住宅の退去時に入居者が直接実施している退去修繕を、市による施行に改め、新たな入居者の公募手続きの円滑化を図るための市営住宅管理費が計上されています。

委員会では、

- ・ 旧合併町内の市営住宅にかかる事務を行政センタ

一で継続する考えについてただすなど、内容を検討いたしました。

次に、災害復旧費において、

本年、6月と7月の豪雨により被災した道路の災害復旧工事を行うとともに、今後災害が発生した時に緊急に対応するための道路災害復旧費が計上されています。

委員会では、

・今後災害が発生した時に備える緊急対応分の予算の積算根拠

・国の災害査定に一定の期間がかかる理由

・市道宮摺町線の迂回路対策を講じる考えの有無

・市道田中町1号線の災害復旧の目途

についてただすなど、内容を検討いたしました。

以上、審査経過の概要を申し上げましたが、その結果、

長崎駅周辺エリアデザイン検討費については、

- ・ 駅の利用者や観光客の視点から、機能性、安全性、利便性を考慮し、交通アクセスの拠点として陸の玄関口にふさわしいデザインとしてほしい、

- ・ 道路が冠水した際の雨水対策としてデッキの整備を検討してほしい、

- ・ 観光バスと路線バスのすみ分けを考え、駅の東側と西側とでは車の流れを変えるように検討してほしい、

- ・ JR九州が考える開発予定地とのバランスに配慮し、全体的に長崎らしい駅舎をつくってほしい、

市営住宅管理費については、

- ・ 今後の市営住宅の建設や管理については、長崎市営住宅条例の趣旨を尊重して十分な検討を行ってほしい、

道路災害復旧費については、

- ・ 一日も早い災害復旧に努めてほしい、
- ・ 災害査定期間の短縮に努めてほしい、
- ・ 大規模災害に備え、十分な対策を講じてほしい、

などの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決すべきものと決定いたしました。